



個別指導塾フォルテ

×



算数

6年生

第19節

データの調べ方



平均値や最頻値について学ぼう！
データを度数分布表やヒストグラムで表そう！

例題：平均値を求めよう

ゼルビーは、FC町田ゼルビアの選手たちのキックの飛びよりをまとめたデータから、平均値を計算しようとしています。

右の表はそのデータです。

平均値を求めましょう。



キックの
飛びよりを
まとめた表だよ！

単位 (m)

選手1	54
選手2	64
選手3	47
選手4	53
選手5	48
選手6	56
選手7	59
選手8	44
選手9	56
選手10	51
選手11	62

解き方

平均値は『合計÷人数』で求めることができます。

よって、

$$(54+64+47+53+48+56+59+44+56+51+62) \div 11 = 54$$

答え

54 m

問題

下の表は、町田市の地区A、B、Cに住んでいる人の年れいを表にまとめたものです。それぞれの地区から15人を選んでいきます。

A	25	35	18	24	19	27	30	40	14	27	22	33	15	19	27
B	17	35	28	15	25	30	14	39	36	25	22	21	23	34	41
C	23	21	33	23	17	12	23	26	11	31	27	19	16	25	38

- (1)地区Aの年れいの平均値を求めましょう。
- (2)地区Bの年れいの平均値を求めましょう。
- (3)地区Cの年れいの平均値を求めましょう。
- (4)平均値が一番高いのはどの地区ですか。



解き方

Blank area for the solution.

答え

- (1) 歳
- (2) 歳
- (3) 歳
- (4) 地区

コラム：身の回りにあるデータとその活用

データは驚くほどたくさんあり、そして様々な場面で用いられています。

例えば、皆さんがテストを受けた時、そのテストの平均点やへん差値を見ることで、自分の成績がどれくらいなのかが分かりますよね。

他にも、サッカーではチームのボール支配率などから相手チームの分析をしたり、野球では打率や防御率でその選手の評価がされたりしています。



天気予報もアンケートも、さらには新型コロナウイルスの感染者数予測も、全てデータが関わっています。



身近なところで使われているデータを探し、それがどのように役に立っているか考えてみましょう！

問題

下の表は、町田ゼルビアの選手11人の、ある試合の出場時間(分)をまとめたものです。

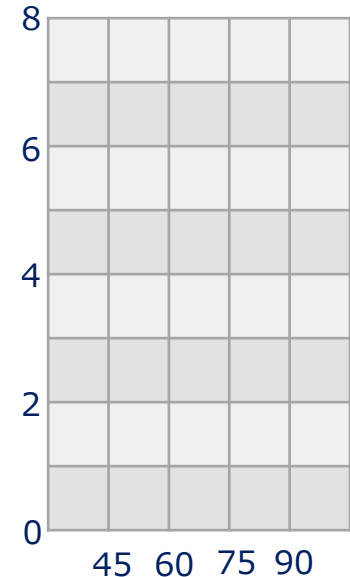
90	65	45	76	90	90	58	90	90	85	90
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

- (1) 平均値を求めましょう。
- (2) 最頻値、中央値をそれぞれ求めましょう。
- (3) 試合の出場時間について、右の度数分布表に人数を書きましょう。
- (4) 45分以上60分未満の階級の度数の割合は、全体の度数の合計の何%ですか。(小数点以下を四捨五入)
- (5) (3)の表を見て、試合の出場時間をヒストグラムに表しましょう。
- (6) 選手11人のうち、出場時間が長い方から数えて7人目の人は、どの階級にいますか。

度数分布表

時間(分)	人数(人)
0以上～45未満	
45以上～60未満	
60以上～75未満	
75以上～90未満	
90以上～	
合計	

ヒストグラム



解き方



答え

- (1)
- (2) 最頻値、中央値
- (3) 上の度数分布表に記載
- (4) %
- (5) 上に記載
- (6)